



がっこう 学校だより

がっこう
4月号

**Challenge
Dream
Interaction**

平成31年4月5日
横浜市立上飯田小学校

新しい年度、新しい時代の始まり

がっこうちょう よこやま よしあき
学校長 横山 美明

4月1日、新しい元号「令和」が発表されテレビや新聞を賑わせました。その出典は万葉集、日本の古典から採用されたのは初めてで、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味だそうです。古きを大切にしながらも、新しい時代の到来を感じさせるものだと思います。

保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。そして、地域の皆様、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

私は、この4月1日より上飯田小学校の校長として、旭区の上白根小学校から異動してまいりました横山美明と申します。私は15年ほど前に統合前の飯田北小学校に9年ほど勤務してまいりました。当時も、上飯田中ブロックでこの上飯田小学校とも交流してまいりましたので、懐かしい“まち”に戻ってきた気がしております。

上飯田小学校に着任した日、校庭の桜が満開でしたので、とてもうれしく思いました。職員玄関に入ろうとした時、玄関上の庇のところにある校章に目がきました。学校要覧を見ると、この校章のモチーフになっている花は桜（八重桜）で、中央には校名の上飯田の文字を組合わせてあり、上飯田の三文字を囲む円は和気、和合の意味で環（和）を表したものとすることがわかりました。「和」という点で、新しい元号「令和」に通じるものがあります。ちなみに、八重桜の花言葉は「しとやか」「豊かな教養」「善良な教育」です。この上飯田小学校の子どもたちが「豊かな教養」を身に付け、熱い気持ちをもって「挑戦」し、それぞれの「夢」に向かい、いろいろな人の「ふれ合い」ながら、「まちにひかる上小キッズ」として育っていくよう職員一同、力を合わせて取り組んでいきたいと考えております。また、学校が子どもたちの健やかな学びを支援できる「善良な教育」の場であることを目指していきます。

5月1日より新しい元号がスタートします。上飯田小学校も今年63名の新入生を迎え、また新たな一歩を踏み出します。私自身も上飯田の地を懐かしむ想いを大切にしながら、新たな気持ちで、子どもたちのために取り組んでまいります。皆様におかれましても、これまでと変わらぬご支援・ご指導よろしくお願いたします。